

モーラステープ適正使用のお願い

【情報の概要】モーラステープの使用により、光接触皮膚炎（光線過敏症）の発症が報告されている。使用の際は下記の点を確認の上、適正に使用すること。

【症状】発疹 発赤 腫脹 そう痒感 刺激感 水疱 びらん 色素沈着

【発現部位】四肢（全体の81%） 特に手首・手が多い。

日光に当たりやすい部位は特に注意が必要。

【副作用発現時の処置】

1. 使用を中止。
2. 比較的強力なステロイド外用剤を塗布。（デルモベート，トプシム等）

ステロイド剤は長期連用しないよう注意！！

顔に近い部位：マイルドなステロイド外用剤を使用。（ロコイド等）

痒みが強い場合：抗ヒスタミン剤を投与。

症状が強い場合：ステロイド剤の内服・点滴静注を行う。

3. 炎症治癒後に色素沈着，色素脱失をおこした場合はビタミンC，E，B₂の全身投与。
消失に数ヵ月～数年要する場合あり。

【光線過敏症の予防】

1. 投与前に問診を行うこと。
2. 患者さんへ下記の指導を行うこと。

モーラステープ使用中及び剥離後は直射日光等強い光を避けること。

剥離後3～4週間は注意が必要。

直射日光に長時間さらされる場合（炎天下の作業，屋外スポーツ等）

：患部を衣服で覆うなど遮光に心がけること。

常時露出部位（手，足等）に使用する場合：長袖シャツやスラックス等を着用すること。

異常（発赤，湿疹，皮膚変色等）が認められた場合：使用を中止し来院すること。

本人以外の人に使用させないこと。

ティーエスワン適正使用のお願い

抗悪性腫瘍剤であるティーエスワンは、本年3月まで市販後調査のため『ティーエスワン使用予定通知』による症例登録を行ってきた。この登録は、適正使用と安全性確保のため登録期間終了後も継続されていたが、この方法がGPMSP上の市販後調査に該当する可能性が示唆されたことから、登録を廃止することとなった。

ただし、ティーエスワン使用の際には安全性確保のため作成された『ティーエスワン適正使用チェックリスト』を活用いただき、適正使用にご協力願いたい。なお、チェックリストの請求等不明点の問い合わせはDIセンターまで。

ベプシドS 適応症追加のお知らせ

ベプシドS cap

< 効能・効果 > 子宮頸癌

< 用法・用量 > 50mg / 日を 21 日間連続経口投与。1 ~ 2 週間休薬。
これを 1クールとし、投与を繰り返す。

Drug Safety Update No.90 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印 : その他

成分名 (薬品名)	主な改訂内容
塩酸チオリダジソン (メルリ錠) チオリダジソン (メルリ散)	<p>禁忌:・QT 延長症候群のある患者 重篤な不整脈<Torsades de pointes 等>の報告あり。 ・重篤な血液障害の既往歴のある患者 (白血球減少症や無顆粒球症等の報告あり。)</p> <p>慎重投与:・QT 延長の既往歴のある患者 (QT 延長が起こるおそれ。) ・低カリウム血症, 低マグネシウム血症のある患者 (QT 延長が起こるおそれ。) ・眼圧亢進, 緑内障, 尿閉 前立腺肥大症等, 慢性便秘, 又は既往のある患者 (抗コリン作用 症状を悪化させるおそれ。) ・循環調節障害(起立性低血圧等) の患者 (症状を悪化させるおそれ。)</p> <p>重要な基本的注意: 起立性低血圧による失神があらわれることあり。 血圧測定等十分観察を行う。</p> <p>重大な副作用: 心室頻拍(Torsades de pointes 等) 心室細動 無顆粒球症 [初期症状] 発熱, 咽頭痛, 全身倦怠感等</p>
以外	<p>相互作用 [併用注意]: ・カハマゼピソン (睡眠, 精神機能抑制の増強等のおそれ。) ・フェニトイン (併用薬剤の血中濃度が上昇又は下降するおそれ。) ・β-遮断剤 (プロプラノロール, ビンブロール) (本剤の血中濃度が上昇するおそれ。) ・チアジド系利尿剤 (降圧作用の増強又は利尿剤のカリウム低下作用による循環器系副作用増強のおそれ。) ・キニジン (不整脈, QT 延長があらわれるおそれ。) ・制酸剤 (本剤の血中濃度が低下するおそれ。)</p> <p>副作用: 白血球増多 貧血 下痢 霧視 持続勃起 激越 幻覚 抑うつ 痙攣 多動 耳下腺腫脹</p>
リシノプリル (ロケス錠)	<p>重大な副作用: 皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症 天疱瘡様症状 血小板減少</p>
メサジソン (ペンタ錠)	<p>重要な基本的注意: ・過敏症状(発熱, 腹痛, 下痢, 好酸球増多等) ・潰瘍性大腸炎・加齢病の悪化 が発現するおそれ。 [処置] 異常が認められた場合: 減量又は投与中止。</p> <p>重大な副作用: 胸膜炎 ネフローゼ症候群 腎機能低下 急性腎不全 無顆粒球症 肝炎 黄疸 膵炎</p>
以外	<p>副作用: 紅斑 好酸球増多 ループス様症候群 末梢神経障害</p>
酢酸オトトレチド (サトスタチン注)	<p>重大な副作用: アナフィラキシー様症状 徐脈</p>
以外	<p>その他の副作用: 白色便 頭痛 疲労 倦怠感</p>
塩酸セファゾチンホキシル (プロモックス錠・小児用細粒)	<p>重大な副作用: 無顆粒球症 血小板減少 溶血性貧血 肝機能障害 黄疸</p>
塩酸リドリン (ウレミン注)	<p>重要な基本的注意: 本剤投与直後に帝王切開 心不全があらわれることあり。 (循環動態の大きな変動による。) 休薬期間をおくことが望ましい。 やむを得ず投与直後に帝王切開術を行う場合 ・観察を十分に行う。 ・異常が認められた場合: 適切な処置を行う。</p> <p>重大な副作用: 心不全 (帝王切開術後に心不全に至った症例あり。)</p>

イマ・私・シラスタチン Na (チナム注)	慎重投与: 肝障害のある患者(肝障害が悪化するおそれ。) 重大な副作用: 劇症肝炎 肝不全
スルバクタム Na・アンピシリン Na (ユナシ S 注)	重大な副作用: アナフィラキシー様症状 皮膚粘膜眼症候群 間質性腎炎 肝機能障害
硫酸イソラシド・ヒドロキシナール付加物 (クリキバソ Cap)	重大な副作用: 肺炎 狭心症・心筋梗塞等の冠動脈疾患 アジトシス 相互作用[併用注意]: セイヨウホキリウ含有食品 (本剤の代謝促進 血中濃度が低下するおそれ。)
インターフェロン- (スミフェロン DS 注)	重大な副作用: 溶血性尿毒症症候群 [症状] 血小板減少, 溶血性貧血, 腎不全 [処置]・血液検査, 腎機能検査等十分な観察を行う。 ・異常が認められた場合: 投与中止。
(IFN チダ注, OIF 注, イントロン A 注)	重大な副作用(類薬): 溶血性尿毒症症候群
組換え沈降 B 型肝炎ワクチン (-HBワクチン注)	重大な副反応: 多発性硬化症 急性散在性脳脊髄炎
カバマセピン (テグレート錠・細粒)	相互作用[併用注意]: ・カバザム(本剤の血中濃度が上昇するおそれ。) ・テラレジン, ドネジル, プラジカンテル, トラマトール (併用薬剤の作用を減弱するおそれ。) ・セイヨウホキリウ含有食品 (本剤の代謝促進 血中濃度が低下するおそれ。)
フェバールタル (フェバール末・リキシル・注), (ワビタル坐)	相互作用[併用注意]: ・カバザム(本剤の血中濃度が上昇するおそれ。) ・セイヨウホキリウ含有食品 (本剤の代謝促進 血中濃度が低下するおそれ。)
フェバールタル含有製剤 (ベケタミン A・B 錠), (トランコロン P 錠)	相互作用[併用注意]: カバザム(本剤の血中濃度が上昇するおそれ。)
フェニトイン(アルビアチン錠・細粒) フェニトイン Na(アルビアチン注) フェニトイン含有製剤 (ヒダントール F 錠)	相互作用[併用注意]: ・カバザム(本剤の血中濃度が上昇するおそれ。) ・コフェピソ(併用薬剤の作用が減弱するおそれ。) ・セイヨウホキリウ含有食品 (本剤の代謝促進 血中濃度が低下するおそれ。)
ジゴキシン (ジゴシン錠・散・注) メチルジゴキシン(ラニレピド錠)	相互作用[併用注意]: ・アムスタチン(本剤の作用を増強するおそれ。) ・制吐作用を有する薬剤(ジギタリス中毒を不顕化するおそれ。) ・セイヨウホキリウ含有食品 (本剤の代謝促進 血中濃度が低下するおそれ。) ・ルスマイト(本剤の作用を減弱するおそれ。) <経口剤のみ>
塩酸アミオロン(アムカロン錠), ジララミド(リスダソ Cap) リン酸ジララミド(リスダソ R 錠・P 注) ジギトキシン(ジギトキシン錠), 硫酸キニジン(硫酸キニジン末) タロリム水和物(プロダラ Cap・注) メシル酸セフィピル(ピラセプト錠)	リドカイン(キコカイン注) 塩酸プロピフェノン(プロノ錠) ワルファリン K(ワ-ワリン錠)
酒石酸エルゴタミン・無水カフェイン (カエルゴット錠) メレイン酸メチルエルゴメリン (メレキソ錠・メナリン注) メシル酸ジヒドロエルゴタミン (ジヒテルゴット錠)	禁忌: スマトリプタン投与中の患者(血圧上昇又は血管攣縮が増強されるおそれ。 両剤を前後して投与する場合は 24 時間以上間隔をあけて投与すること。) 相互作用[併用禁忌]: スマトリプタン [併用注意]: テラレジン(本剤の血中濃度が著しく上昇するおそれ。)
ザルプロフェン (ゾルト錠)	相互作用[併用注意]: マトリキサート(併用薬剤の作用を増強するおそれ。) 副作用: 白血球減少
メレイン酸フルキサミン (デプロメ-ル錠)	相互作用[併用注意]: キンチン系気管支拡張剤 (併用薬剤のクリアランスを 1/3 に低下するおそれ。) 副作用: 一過性の意識障害 黄疸
硫酸アトピソ(硫酸アトピソ注)	適用上の注意: 皮下・筋肉内注射時 皮膚・筋肉壊死, 筋肉障害が発現するおそれ。
塩酸ヘパリン(ヘパリン錠)	禁忌: HIV プロテアーゼ阻害剤投与中の患者(心室頻拍等重篤な副作用をおこすおそれ。) 相互作用[併用禁忌]: HIV プロテアーゼ阻害剤
カンデサルタシルセシル(プロプレス錠)	副作用: -GTP の上昇 咳
フルバスタチン Na(ローコ-ル Cap)	副作用: 脱毛 口内炎 口渇 頻尿 ほてり 胸内苦悶感
塩酸ラモセトロン(セア OD 錠・注)	重大な副作用: ショック アナフィラキシー様症状

<p>塩酸ジフルアゼム（ハルッサ-注）</p>	<p>重要な基本的注意：本剤投与で完全房室ブロック，高度徐脈，心停止に至る場合あり。 [注意点] 必要最小限の用量にとどめること。 （点滴静注の場合：必要最小限の投与時間） 投与中，投与後 患者の状態を十分観察する。 上記症状に対処できる十分な準備を行い投与する。 異常が認められた場合 ：直ちに投与を中止し適切な処置を行う。</p> <p>相互作用[併用注意]：・塩酸レキリ（併用薬剤の作用，毒性が増強するおそれ。） ・シスタザール，酒石酸ビルビトン （併用薬剤の作用が増強するおそれ。）</p> <p>副作用：嘔吐</p>
<p>グルカゴン（グルカゴンGホ-注）</p>	<p>慎重投与：糖尿病患者</p> <p>重要な基本的注意： 『消化管のX線及び内視鏡検査の前処置，胃の内視鏡的治療の前処置時』 糖尿病患者 本剤の血糖上昇作用により血糖コントロールに影響を及ぼすおそれ。 [処置] 血糖値の変動等を十分に観察する。 ・異常が認められた場合：直ちに適切な処置を行う。 糖代謝異常が認められる患者 高血糖状態が持続する可能性あり。 <u>追加投与を行った場合は特に注意！</u> 肝硬変等、肝の糖放出能が低下している患者 本剤のインスリン分泌促進作用により低血糖を起こすおそれ。 食道，十二指腸及び下部消化管の内視鏡的治療の前処置について 使用経験なし。</p> <p>副作用：腹鳴 倦怠感 ほてり 冷感 血清カウム上昇 血清無機リン上昇 尿潜血 血清ビルビトン上昇 血糖値上昇 尿糖 トリグリセライド上昇</p> <p>適用上の注意：[調製方法]・添付の溶解液全量で溶解すること。 グルカゴン1mg/mL調製 ・成人における肝型糖原病検査の場合 生食20mLに溶解すること。</p>
<p>フルコザール （ジフルカ Cap・注）</p>	<p>重要な基本的注意：本剤投与時 アルルキ-既往歴，薬物過敏症等について十分な問診を行う。</p> <p>相互作用[併用注意]：ミダゾラム，テオフィリン，経口避妊薬 （併用薬剤の血中濃度が上昇するおそれ。）</p> <p>重大な副作用：アリアキシー反応(血管浮腫，顔面浮腫，そう痒等)</p> <p>副作用：嘔吐 消化不良 鼓腸放屁 腹痛 めまい 好中球減少 味覚倒錯 意識障害 高コレステロール血症 高トリグリセライド血症 低カウム血症</p>
<p>塩酸セフェピム（マキピ-ム注）</p>	<p>重大な副作用：皮膚粘膜眼症候群</p>
<p>アミトリプティン酸ナメグリン （ウロク ラフィン注） イトロクス酸メグリン （ピリスコピンDIC） イトロラン（イビス注）</p>	<p>重要な基本的注意：投与量，方法にかかわらず過敏反応を示すことあり。 ショック等の重大な副作用はヨード過敏反応とは限らない。</p> <p>投与に際しては、必ず救急処置の準備を行うこと(予知難)</p>
<p>イキシラン（イジニール注） イハミドール（イハミオン注） イブロミド（プロスコブ注） イハキソール（オムニール注） イハルソール（オフレイン注） イメプロール（イメオン注）</p>	<p>慎重投与：肝機能低下患者(肝機能が悪化するおそれ。)</p> <p>重要な基本的注意：投与量，方法にかかわらず過敏反応を示すことあり。 ショック等の重大な副作用はヨード過敏反応とは限らない。</p> <p>投与に際しては、必ず救急処置の準備を行うこと(予知難)</p>
<p>イキシラン（イジニール注）</p>	<p>副作用：徐脈 気管支痙攣 咳 めまい</p>
<p>イメプロール（イメオン注）</p>	<p>副作用：健忘 言語障害 口内違和感 唾液増加 下痢 フェノセ 不整脈 しゃっくり 血小板減少 流涙</p>
<p>沈降精製百日せきジフテリア 破傷風混合ワクチン</p>	<p>その他の注意：接種後 脳症，けいれんがみられたとの報告あり。(因果関係不明)</p>